

# 固視状態の検査-間接観察法 内視現象(Haidinger's Brushes)を利用する方法 例) Coordinator

準備物 コージナートル・付属のペン・付属の絵・セロファン



機種により位置は違うが主電源、回転方向、速度などのスイッチがあり、触ると判る。

被検者の一眼を遮閉し、丸いぶ厚い透明な窓から濃青色フィルタを通してコージナートルをのぞかせる

青い束が回っているのわかるか？

見えない  
?

中心が消えている

見える

押さえる箇所を変えてもついでくを見る

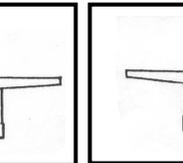
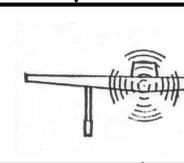
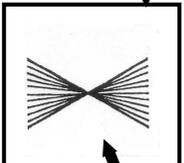


どちらかで 中心固視の確認。

ペン先を見ると押さえた箇所で回っているか？

飛行機の図などを組み合わせて見せる

プロペラの中心を見てその位置で回っているか？



人差し指でまわっている方向を指示させる

セロファンをフィルターの間に入

回転を逆にした場合、逆に感じるか？

NO



6°以上の偏心は見えない。

6°以上の偏心固視又は判定不能

中心窩抑制

中心固視

判定不能

6°未満の偏心固視



目的

間接的な固視の状態の把握

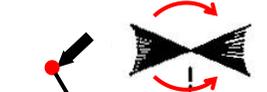
参考) Haidinger's Brushes の見え方

中心固視

偏心固視

見ている所とH.B.は同じ所で回る

見ている所とH.B.は違う所で回る



中心固視



説明

本現象は、黄斑部のHenle層の神経線維の放射状走行による内視現象の1つで透光体が混濁していても黄斑部の機能がよければ、このブラシは見えることを利用している。

図は横に差し込み場所があるよ。

図) 湖崎克: 視能矯正-理論と実際-P208